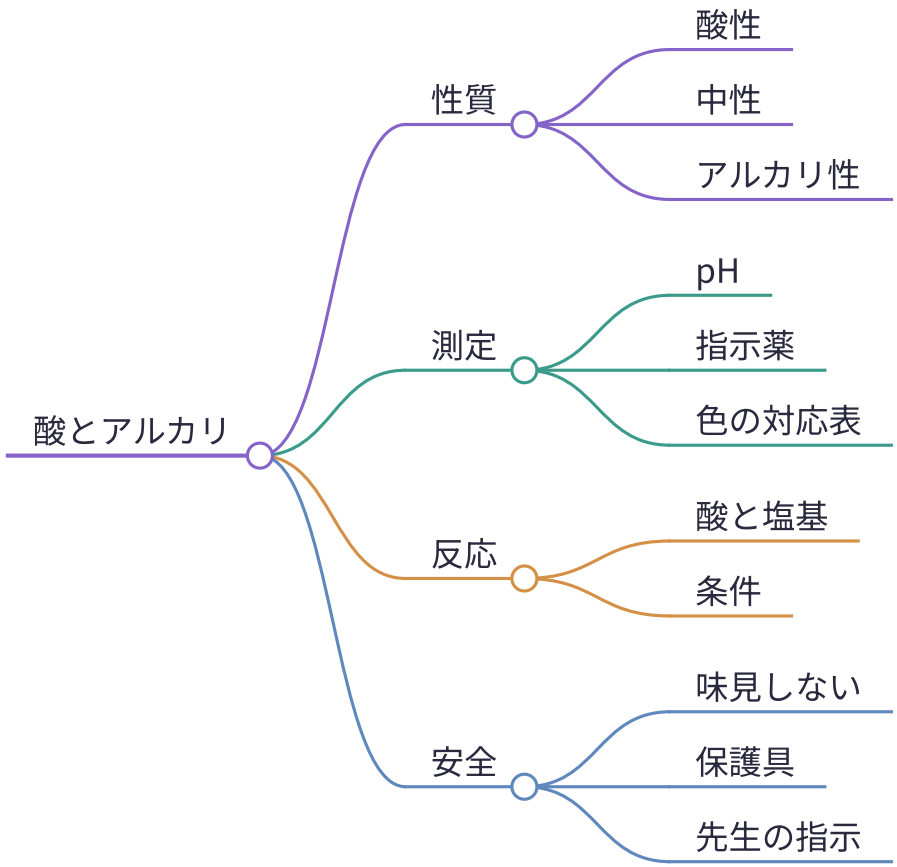
# 酸とアルカリ

条件を確かめながらpHを読み取ります。




枝を一つずつ読み、細部を隠して自分の言葉で説明してみましょう。

## 内容を理解する

水溶液のpHは酸性の程度に関係する値です。常温の一般的な水溶液では7未満が酸性、7より大きいとアルカリ性です。目盛りは対数的です。指示薬の色は、その指示薬の対応表に照らして判断します。

### マップの構成

性質、測定、安全な操作を分けます。

> **ここに注意**
> 不明な物質を味見してはいけません。強い酸と濃い酸も同じ意味ではありません。

## 自分で考えてみよう

性質が分かっている二つの水溶液の色を対応表と比べ、観察と解釈を別々に書きましょう。

### 考えてみよう：二つの問い

**色は何と比べますか？**

指示薬によって色の変化や範囲が異なります。

**強い酸と濃い酸は同じですか？**

酸の強さと濃度は異なる性質です。濃いことだけを理由に強い酸とは呼べません。

### 参考資料

openstax.org
https://openstax.org/books/chemistry-2e/pages/14-1-bronsted-lowry-acids-and-bases

Studera.aiが作成した学習用の作例です。studera.ai/ja/gakushu-shiryo/mindmap-rei でマップを活用できます。